

社会民主党福島県連合

喜多方耶麻総支部

TEL 0241-22-1980

FAX 0241-22-1980

THE SHAKAI SHIMPO

# 社会新報

2022年

3月 5日

No 8

党内報 発行

喜多方耶麻総支部

代表 斎藤仁一



## 市長選菅野氏敗れる 一位は 17,014 票（棄権票）二位遠藤氏 13,265 票

### 喜多方市長選の行動を 参院選(7月10日濃厚)に活かそう

短期決戦・若者の力が  
大きな流れにはなれず

1月23日告示、30日投開票の喜多方市長選挙は、4年前と同じ顔触れ。現職陣営は「4年間の実績」と「公約」を掲げるも、そのほとんどが前市長時代に計画され実行に移されたことから、あるいは国県の施策で行われているものの羅列が多々。

一方、菅野陣営は4年前の「無競争許すまじ」でなく、「コロナ禍で閉塞状態の地域経済や市政の活性化を願う」若者が擁立の力、そして後援会にもその力が結集されました。

社民党喜多方耶麻総支部では「支持」を表明し、社民党支持者や知人友人に候補者の政策を浸透させる取組に力を注ぎました。(感謝)

告示後に現職陣営は SNS 上で4年間の実績を市民(子どもまで動員し)登場の動画配信する等「違反スレスレ」とも取れる行動や「親書」の宛名に「火災〇〇様」と脅しとも取れるようななりふり構わぬ作戦を展開してきました。

一方「菅野陣営」は「若者」を中心に「利用者目線の子育て支援」や「市民・事業者・行政連携によるコロナ対策」等の政策に共感が集まりましたが、大きなうねりとはなりませんでした。投票率は 56.59%と前回よりは微増でしたが、棄権票が 17,014 票にも及んでおり、若者だけでなく選挙無関心層対策も必要と感じました。

市議補選へは擁立できず  
次年の本選へ向け努力する

市長選と日程を同じく執行された市議補選には、元市議の2名のみの立候補で、「締切」と同時に定数(2名)通りで確定。我が党や前市議(2名)の後援会等から擁立できなかったことは支持者の皆さんにお詫びしなければなりません。党では次期本選に向け複数の人物への打診と意見交換を実施してきました。

【市長選投票率は旧喜多方・塩川地区が低調】

2月28日の喜多方市議会3月定例会における一般質問(斎藤代表)に選管委員長が答弁した内容  
喜多方地区 55.7% 熱塩加納地区 68.91%  
塩川地区 50.72% 山都地区 66.76%  
高郷地区 70.08% 【20代では32.38%】

## ロシアのウクライナ軍事侵攻に抗議する

### 2月25日 社会民主党幹事長 服部良一 談話（抄）

2月24日ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始した。いかなる理由があろうとも、主権国に軍事力を行使することは国際法に違反し、断じて認められない。

社民党として厳しく抗議する。

国連のグテレス事務総長も国連本部で「ウクライナを攻撃するのをやめて下さい。平和にチャンスを与えて下さい」と悲痛な訴えをしたにも関わらず、その直後に攻撃が始まったことは国連憲章を守るべき安保理常任理事国として決して許されない。

日本国憲法9条は「正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」と謳っている。日本が引き起こした過去の侵略戦争の反省から生まれたこの憲法9条の理念は、まさに今日国際社会での崇高な理念でもあり得る。

社民党はこの立場から一切の戦

争に反対する。

ウクライナ問題の歴史と背景にも注意を払い、NATOの東方拡大や軍事基地強化に懸念を示すロシアを含むヨーロッパの総合安全保障体制の再構築に国際社会は努力しなければならない。

決して冷戦時代に時代を逆戻りさせてはならない。ロシアは即座に軍事侵攻を停止し、国際社会は今回の問題を世界的な緊張と対立の連鎖にさせてはならない。世界の平和の在り方を真剣に検討する決意が問われている。

### 【積雪を前にポスター看板撤去】

12月17日、積雪前に政策ポスター看板を撤去しました。総選挙終了と同時に選挙ポスターと共に取り外した箇所もあります。

融雪後には、再度設置しますので、用地を提供して頂いた皆さんには引き続きお世話になります。

### 【県連大会で役員再選】

社民党県連大会は2月19日にZOOMで開催され、当総支部からはこの間党組織がなくなった県における総選挙における得票の伸びについて質問した。

宮城県は「女性団体」の固い支持層の力が浸透されており、山形県では社民党と新社会党の結束や市議町議の奮闘があったとの回答。県連役員は斎藤総支部代表が引き続き県連常任幹事として再選された。

### 【コロナ対策・ALPSチラシ問題に

申入れや抗議】党県連は「まん延防止措置発令」に際して医療体制確率等の申入れ。復興庁が県教委等を無視して各学校に直送したALPS処理水のチラシについて回収等行うよう強く抗議し

### 【党内報後記】

●市長選は(現職)48(ヵ月)対(菅野氏決意から)1(ヵ月)の構図が得票数に現れたとも言える●4年後には間違いなくまた市長選、社民党としての関わり方は今から心得なければならない●来年は市議会議員改選、社民党としての市民との信頼関係や党が今まで市議を擁立してきた真価が問われる。